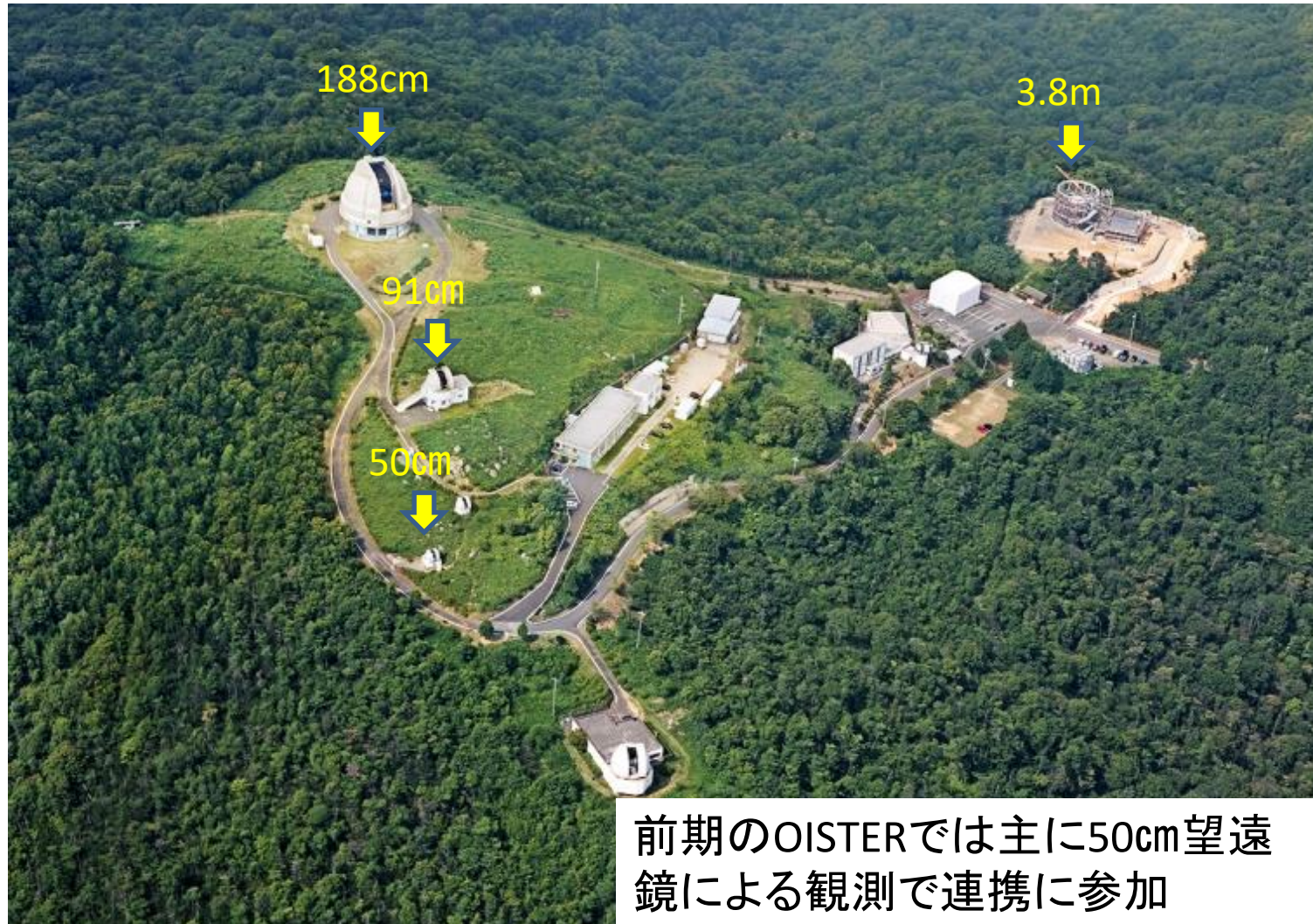


岡山の現状と今後

前原裕之、泉浦秀行

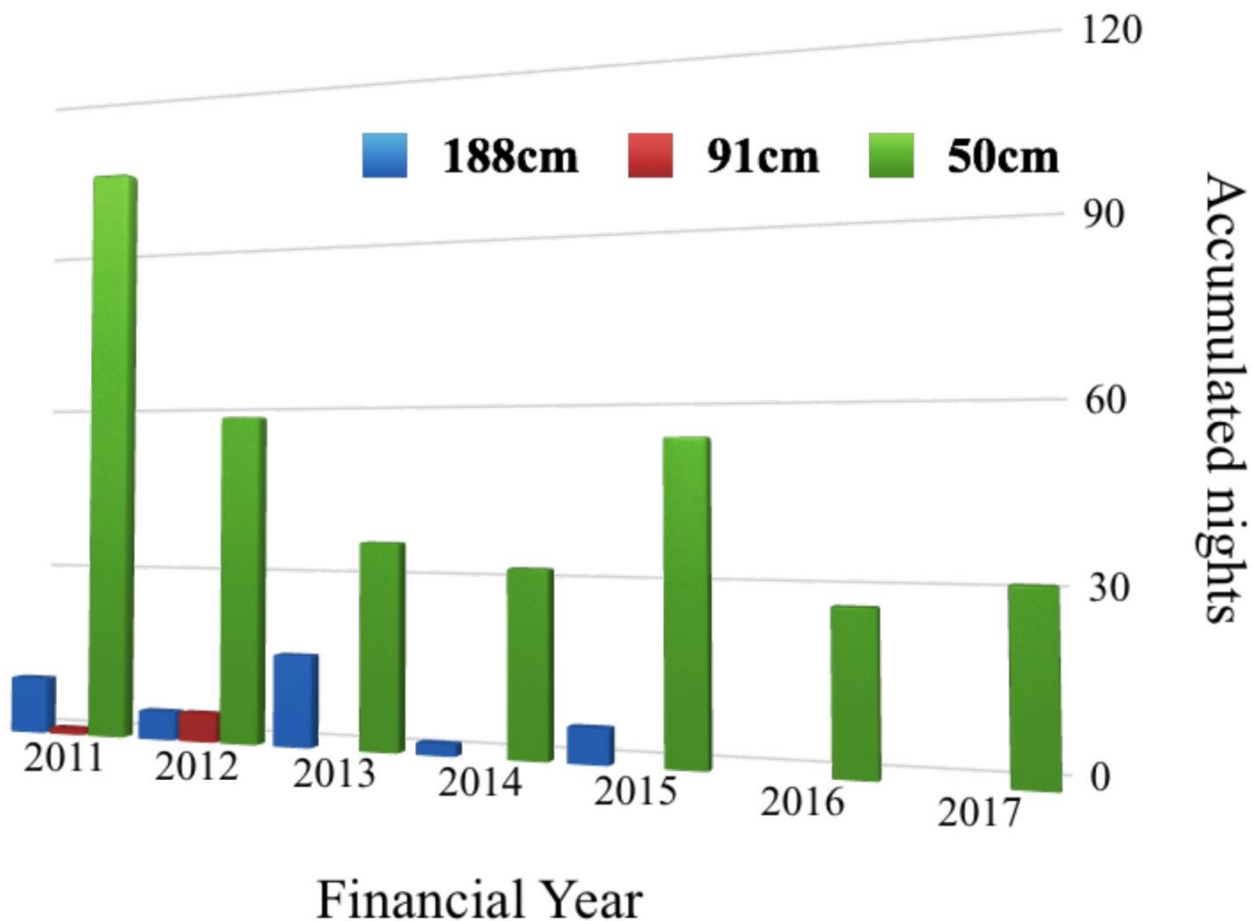
(国立天文台岡山天体物理観測所)

岡山全景 (2016/08)



前期のOISTERでは主に50cm望遠鏡による観測で連携に参加

前期のOISTERでの活動状況



50cmの観測総夜数は、44天体341夜、
188cmは13天体39夜であった。

前期のOISTERでの活動状況

| Paper | Object | OA telescope |
|-------------------------------|-------------------|-------------------|
| Itoh <i>et al.</i> , 2013 | CTA102 | 188cm, 50cm |
| Itoh <i>et al.</i> , 2014 | 1H 0323+342 | 50cm |
| Ishiguro <i>et al.</i> , 2015 | 209P/LINEAR | 50cm |
| Yatsu <i>et al.</i> , 2015 | 2FGL J2339.6-0532 | 188cm, 50cm |
| Yamanaka <i>et al.</i> , 2015 | SN 2012Z | 188cm, 91cm, 50cm |
| Kuroda <i>et al.</i> , 2015 | 209P/LINEAR | - |
| Tanaka <i>et al.</i> , 2016 | V404 Cygni | - |
| Yamanaka <i>et al.</i> , 2016 | SN 2012dn | 188cm, 50cm |
| Yamanaka <i>et al.</i> , 2017 | SN 2016coi | - |
| Morokuma <i>et al.</i> , 2017 | KISS14k | 188cm, 50cm |

OISTERを通して観測を実施した論文の中で50cmのデータ含有率は70%、188cmは50%と及第点の貢献はできた。

今期のOISTERと岡山

- 岡山天体物理観測所は、概算要求書では50cm望遠鏡と91cm望遠鏡で連携事業に参加するとしたが...
- 平成29年度末でプロジェクトが解散するなど状況が大きく変化し、平成30年度以降はこれまでの運用主体がなくなる。
 - 平成29年度は連携事業予算の配分を受けていない
- 平成30年度以降、50cm望遠鏡、91cm望遠鏡ともに、個別の研究者が利用する予定
 - 国立天文台の何れかのプロジェクトが50cm望遠鏡と91cm望遠鏡を擁して連携事業に参加する予定はない。

50cm望遠鏡

- 今年度はこれまでにOISTERのToO観測を1件行っている。
- 今年度内から既に東工大による観測が実施されている。
- 今後は東工大主体の観測運用でOISTERのToO、キャンペーン観測を実施する予定である。

91cm望遠鏡

- 今年度、91cm望遠鏡はここまでのところ新事業に係る観測には参加していない。
 - J-GEMの観測は実施しているようである。
- 平成30年度以降は、個別の研究者による利用が予定されている。
- 今後91cm望遠鏡が連携事業に参加するかどうかは、運用に当たる研究者の判断による。

188cm望遠鏡

- 元々188cm望遠鏡は新事業での利用は考えられていない。
- 平成30年度以降、188cm望遠鏡は複数の団体が共同で運用に当たることが予定されている。
 - HIDES(可視高分散分光)やMuSCAT(可視3色同時撮像)などのグループによる利用が検討されている
- 188cm望遠鏡が連携事業に参加するかどうかは、運用団体の判断による。

まとめ

- 平成29年度末でプロジェクトが解散するため、平成30年度以降はこれまでの運用主体がなくなる。
 - 50cm: 東工大による運用に移行
 - 91cm: 個別の研究者による利用に移行予定
 - 188cm: 複数の団体が共同で運用する予定
- OISTERへの参加
 - 50cmはToO、キャンペーン観測を実施する予定
 - 他の望遠鏡未定(運用にあたる研究者・団体の判断による)